

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-19

学校名・団体名	埼玉県北部地区中学校技術・家庭科教育研究会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	自分で考え選択し、意思決定する力を高める学習 指導
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>家庭分野「内容D 身近な消費生活と環境」に重点を置き、生徒に消費行動がもつ影響力を理解させ、物事を多面的・客観的に捉え、論理的にじっくり考える力、いわゆるクリティカルシンキング（批判的思考力）を育み、消費者市民としての態度を育成する授業を目指す。そのために、10時間分の学習指導案・ワークシート・教材教具などを作る。そして、消費者教育の普及にあたる。</p>	

1. 研究の概要

(1) テーマ設定の理由

持続可能な社会を実現するために、消費生活の基盤となる知識や技能を活用して、主体的に意思決定できる生徒の育成を目指す。生徒が消費者としての自覚を高め、消費行動が持つ影響力を理解するとともに、多面的・客観的に捉え、論理的にじっくり考えることができる力、いわゆるクリティカルシンキング(批判的思考力)を育み消費者市民としての態度を育成することが不可欠であると考え、本テーマを設定した。

(2) 目指す生徒像

- ・消費者としての自覚を高め、消費行動が持つ影響力を理解して、生活を工夫し創造できる生徒
- ・物事を多面的・客観的に捉え、論理的にじっくり考える(クリティカルシンキング)ことができる生徒

2. 研究仮説

自分で考え選択し、意思決定できる消費者を育成するためには、物事を多面的・客観的に捉え、論理的に考えるクリティカルシンキング(批判的思考力)ができることが必要である。問題解決や意思決定に不可欠であるクリティカルシンキングを身に付けるために、【3つのポイント】(Why・How・For example)を授業の中で積み重ねていくことで、クリティカルな考え方の基が生徒に芽生えてくると考える。**Why:なぜ(問題に気づく力) How:どのように(情報収集力) For example:例えば(比較分析力・意思決定力)**と捉え、3学年間で繰り返し学習させることにより、発達段階に応じて意思決定する力を高めていきたいと考える。

題材「自立した消費者になろう」10時間

1年	1	商品購入のプロセス
	2	販売方法と支払い方法
	3	契約・消費者の権利と責任
	4	消費生活のトラブル
2年	5	消費者を支えるしくみ トラブルの解決方法
	6	環境への影響を考える
	7	エネルギー消費とCO2を減らす
3年	8	環境への影響を考えた消費生活
	9	持続可能な社会に向けて
	10	自分の意見を発信する

ABC領域と関連させた授業は年間通して実施する

3. 研究の内容

(1) 内容における位置づけの特徴

内容Dの学習は、繰り返し学習できるように発達段階を考慮しつつ、各学年に位置づけた。また、内容Dを内容A、B、Cと関連させ、3年間を通して計画的、継続的にクリティカルな考え方のできる消費者を育成できるようにした。

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1年生: 基礎基本の定着 消費者としての権利と責任 | } 意思決定力の向上 |
| 2年生: 消費生活と環境のかかわり | |
| 3年生: 消費が持つ影響 持続可能な社会の実現 | |

(2) 目指す生徒像への迫り方

①問題の気付きへの手立て

- ア 導入の工夫
- イ 実感を伴う事例・視聴覚教材の工夫<写真1>
- ウ アクティブラーニングの場面設定<写真2>
- エ 多角的に捉えさせるための手立ての工夫<写真3>

②思考を整理する手立て

- ア 思考の道筋が分かるワークシートの工夫<写真4>
- イ 評価における教師の支援
- ウ 生徒の記述から読み取る評価の工夫



<写真1 トイレtpペーパーの提示やPPの活用> <写真2 協働的な学習の場面>



<写真3 シミュレーション場面> <写真4 情報カードの活用> <写真5 ワークシートの工夫>

4. 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会 公開授業の様子 (本庄市立児玉中学校)



導入の様子

教師の説明

班活動

表示シートからの情報収集



生徒の発表

公開授業では、生徒にとって身近なもので、環境の問題にまで考えを深められるトイレットペーパーを題材にした。導入で実物に触れさせ、トイレットペーパーを選ぶ視点について、多面的に見とれるよう意識を持たせた。学習方法は、共同的な学びの場面を意図的に設定し、いいねシールを活用して新たな気づきや問題の発見、考えの修正など、物事を多面的にとらえて意思決定できるようにした。教材は表示シートを用いて、生徒が様々な情報を収集し、比較検討できるようにした。

ワークシートは、問いかげの言葉や記入方法、レイアウト等をわかりやすくし、生徒が思考を整理して、自分の考えを明確にできるよう工夫し評価に結びつけた。

5. 成果と課題

(1) 成果

- ・商品を購入する際、衝動的購入から、よく考え、確認してから買うという計画的購入ができるようになった。
- ・商品購入時には、実物を見ることやCM以外に、多面的に考え、商品を選ぼうとする力が身についてきた。
- ・トラブルを解決するための具体的な行動を起こそうとする態度に変わった。
- ・全体的に消費者としての意識が高まってきた。

(2) 課題

- ・小学校・高等学校との系統性や他教科との関連を踏まえた授業実践、検証
- ・クリティカルシンキングの深まりを評価するための評価方法の研究

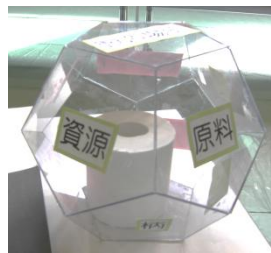
※実施した授業研究会

平成25年度	12月	「よりよい消費生活のために」	本庄市立本庄東中学校	新井 奈津子
	2月	「環境に配慮した生活」	熊谷市立富士見中学校	入船 綾子
平成26年度	10月	「賢い消費者になろう」	深谷市立南中学校	山口 裕子
	10月	「賢い消費者になろう～契約～」	美里町立美里中学校	砂川 千津子
	11月	「生活情報の活用」	熊谷市立大原中学校	松本 美恵
	1月	「環境に配慮した生活」	尾田巻町立尾田巻中学校	粕谷 和美
平成27年度	7月	「情報を発信しよう」	熊谷市立玉井中学校	増田 貴代
	9月	「環境に配慮した生活」	本庄市立本庄西中学校	櫻井 久美子
	12月	「環境に配慮した消費者になろう」	横瀬町立横瀬中学校	山口 理恵
平成28年度	6月	「環境に配慮した消費者になろう」	深谷市立深谷中学校	中原 和枝
	7月	「環境に配慮した消費者になろう」	上里町立上里北中学校	鈴木 ちえみ
	10月	「環境に配慮した消費者になろう」	本庄市立児玉中学校	山崎 友子

※製作した教材・教具



8時間目授業教材・教具



多面的視点のための教具



飲み物の選択



「消費生活と環境」教材セット



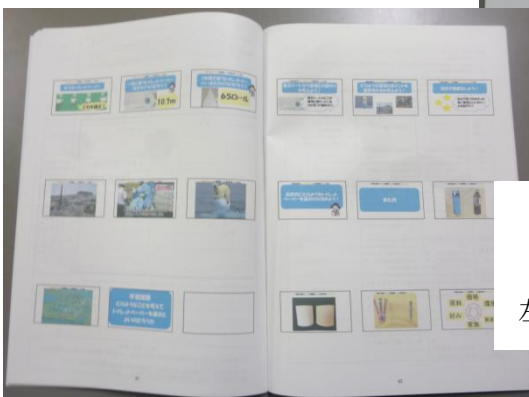
平成28年10月14日(金)
本庄市立児玉中学校

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会
北部地区技術・家庭科教育研究会



指導案・ワークシート・

PP・その他資料データ



「消費生活と環境」

指導案集・資料集冊子

左右写真はその内容の一部

